

1. 次のチェッカーフラグのパターンを **boolean** 型の 10 行 10 列の 2 次元配列に格納しなさい。その後、配列に格納されたパターンを画面に表示するコードを書きなさい。

(パターンの作り方)

i 行 j 列の配列要素に、

- ・ i+j の値が偶数の場合 → **true** を代入する
- ・ i+j の値が奇数の場合 → **false** を代入する

とすればよい。

ここで、**true** は□を表し、**false** は■を表す。また、偶数と奇数の区別は、剰余演算子%を用いればよい。

(実行例)

```
>java Assignment11_1
```

```

□■□■□■□■□■
■□■□■□■□■□
□■□■□■□■□■
■□■□■□■□■□
□■□■□■□■□■
■□■□■□■□■□
□■□■□■□■□■
■□■□■□■□■□
□■□■□■□■□■
■□■□■□■□■□
□■□■□■□■□■
■□■□■□■□■□

```

```
-- Press any key to exit (Input "c" to continue) --
```

2. 次の行列 A を用いて配列 **array** を初期化しなさい。次に、同じ大きさの 4 行 4 列の配列 **t_array** を作成しなさい。配列 **array** の転置行列^t A を配列 **t_array** に求めるコードを書きなさい。

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 5 & 6 & 7 & 8 \\ 9 & 10 & 11 & 12 \\ 13 & 14 & 15 & 16 \end{pmatrix}$$

(参考) $m \times n$ 行列 $A = (a_{ij})$ に対して $n \times m$ 行列 (a_{ji}) を行列 A の転置行列^t A という

3. 2つの行列 A, B を用いてそれぞれ配列 `array_A` と `array_B` を初期化しなさい。その積を 3 行 3 列の配列 `array_AB` に求めるコードを書きなさい。

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 & -3 \\ -2 & 1 & -2 & 0 \\ 1 & -1 & 1 & -1 \end{pmatrix}, B = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 2 \\ 2 & -3 & -1 \\ -1 & 2 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

4. あるクラスの学生が国語、数学、英語の試験を受けた。学籍番号と試験結果を配列に入力して、各学生について合計と平均を求めよ。さらに、成績に応じて順位をつけて表の形で出力するプログラムを作成しなさい。但し、学生数は最初に入力するようにすること。

(配列の構成例) 学生数が `num` の場合：

```
String[] student_ID = new String[num]; // 各学生の学籍番号
int[][] score_table = new int[num][3]; // 各学生の3科目の点数
int[] total = new int[num];           // 各学生の点数の合計
double[] average = new double[num];   // 各学生の点数の平均
int[] ranking = new int[num];          // 順位
```

(出力例)

ID	Jap.	Math.	Eng.	Total	Ave.	Rank
j2006001	34	100	66	200	66.7	2
j2006002	31	21	47	99	33.0	3
j2006003	98	79	85	262	87.3	1